

## 目指す児童像

思いやりのある  
よく考える  
明るく元気な  
進んではたらく

# 海道小だより

## 第 1 号

平成30年4月発行  
宇都宮市立海道小学校  
校長 高島 俊幸

校庭のけやきをはじめ、木々の緑が増えるとともに、菜の花やパンジー、チューリップが色鮮やかに咲く中、児童は、新たな気持ちで伸び伸びと活動し、学校生活を楽しくしています。

## 平成30年度の学校づくり

海道小学校は、児童205人、職員18人でスタートしました。4年生が2学級、その他の学年は1学級、わかばの8学級です。



### ◇ 基本目標

自ら学び、正しく判断できる力をもった、知・徳・体 の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成

### ◇ 具体目標（目指す児童像）

4つの姿、保護者、地域の方への定着を図る合言葉、学校での主な取組を紹介します。

- 【お】 **思いやりのある子ども**・・・ルールやマナー 縦割り班活動 言葉づかい 謁謁会
- 【か】 **よく考える子ども**・・・確かな学力（授業・家庭学習）避難訓練等
- 【げ】 **明るく元気な子ども**・・・あいさつ 運動会 各種検定 歯の健康教室 遊びくで
- 【す】 **進んではたらく子ども**・・・係や当番 清掃 学校行事 栽培

### ◇ 学校経営の理念及び方針（中期的視点）

活気あふれる学校

やる気と自己有用感に満ちた児童

信頼される教職員

### ◇ 本年度の取組

- テーマ「**失敗をおそれず思い切り挑戦する**」
    - ・ 始業式や入学式で子どもたちに本校の合言葉「**おかげです**」を学級や家庭、地域などで**失敗をおそれず実践していくこと**を話しました。成功体験、失敗体験すべてが子どもたちにとって力（財産）になります。とても素晴らしい海道小の子どもたち、これからますます羽ばたいてほしいという願いを込めて本テーマを設定しました。
  - 目指す児童像に向けて
    - ・ 「**海道小スタンダード**」  
一昨年度に全児童に配付したものを一部改善するとともに、月別生活目標や家庭でのスタンダードとも連動し、一体となり指導に生かせるようにしました。
    - ・ 「**思いやりのある子ども**」  
今年度も道徳教育や縦割り班活動を通して、相手に対する思いやりの気持ちを育てていきます。
    - ・ 「**よく考える子ども**」  
校内の授業研究において、今年度は「算数」に焦点を当て、子どもたちに思考力・判断力・表現力を育成するとともに学習意欲を高めていきます。
- ～本年度の取組をご理解いただき、引き続き、ご協力くださいますようお願いいたします。～

## 職員紹介

〈校長、副校長、事務職員、主任主事等〉

○印は新任 ( ) 内は前任校

職名	氏名	職名	氏名
校長	○高島 俊幸 (瑞穂台小)	学習指導主任	○篠崎 陽子 (城東小)
副校長	石井 圭子	児童指導主任	中島 宏明
教務主任	菊地 浩子	保健主事	三品 絵理
主事	○金田佐織莉 (新規採用)	養護教諭	三品 絵理

〈学級担任、指導員、嘱託員等〉

職名	氏名	職名	氏名
1年 1組	伊藤 美幸	5年 1組	川俣 早百合
2年 1組	湯澤 啓子	6年 1組	中島 宏明
3年 1組	高村 一帆	わかば	○馬場 清華 (細谷小)
4年 1組	○篠崎 陽子 (城東小)	指導助手	黒須 美里
4年 2組	松本 智江	学校栄養士	永田 道蓉
かがやきルーム指導員	川澄 哲也	学校業務	西井 功
学校図書館司書	大野 美恵子		

〈転出した職員〉



影山 晃一 先生 (緑が丘小学校へ)  
 池田 隆司 先生 (ご退職・再任用：豊郷中央小学校へ)  
 野中 敬子 先生 (ご退職・再任用：御幸小学校へ)  
 久我 逸就 先生 (姿川第一小学校へ)  
 大橋 友里 先生 (中央小学校へ)  
 石積 清美 先生 (石井小学校へ)  
 関根 令佳 先生 (ご退職)

## お知らせ

校外の出来事で、保護者や地域の方にお知らせしたいことを取り上げました。

### 始業式 (4月9日)

式では、学年代表の児童が「新学期を迎えての希望」を発表しました。自分の得意なことや苦手なことなどから新年度のめあてを具体的に決めて上手に発表できました。

### 入学式 (4月11日)

新入生31人が、2年生に案内され入場しました。名前を呼ばれ、大きな声で返事をし、真剣な態度で参加しました。式では、「あきらめず頑張ること」「思いっきり挑戦すること」「仲良く助け合うこと」を話しました。毎日、担任の先生と楽しく勉強しています。

### PTA総会 (4月20日) の校長の話から

○教育界における大きな改革について

- ・教育界においては、これまで以上に学校と家庭・地域が協力して子どもたちを育てることが求められています。「家庭学習の習慣化」や「豊かな心の育成」「健康な食事」など学校と家庭が心を一つにして共通に実践することが次世代を生き抜く子どもを育てることになります。
- ・その他、新学習指導要領の中で大切にされていることは「子どもたち主体の能動的な学習」を構築することです。本校では、各教科等はもちろん、今年度は特に「算数」や「道徳」において、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう授業研究をしていきます。

